



FY2022 3Q

FINANCIAL RESULTS

Oct. 2021— Dec. 2021

TSE : Mothers 7089

© 2022 for Startups, Inc.

Agenda

1. 会社概要
2. 市場環境
3. 2022年3月期業績予想
4. 2022年3月期第3四半期業績
5. 各サービスの状況
6. 中長期を見据えた考え方

会社概要



会社名 フォースタートアップス株式会社

英文社名 for Startups, Inc.



| | | | | | |
|-------------|--|-----|--|-------------------------------|----------|
| 設立 | 2016年9月 | 経営陣 | 志水 雄一郎 | 代表取締役社長 | |
| 本社所在地 | 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー 36F | | 恒田 有希子 | 常務取締役 | |
| (サテライトオフィス) | CIC Tokyo 東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15階 | | 菊池 烈 | 取締役 | |
| 正社員数 | 110名 (2021年12月末) | | 清水 和彦 | 取締役 | |
| 資本金 | 2億1,974万円 (2021年12月末) | | 大原 茂 | 取締役 | |
| 事業内容 | 成長産業支援事業 | | 齋藤 太郎 | 社外取締役 | |
| 取引先企業数 | 700社以上 | 備考 | 堀内 雅生 | 社外取締役 | |
| 職業紹介許可番号 | 13-ユ-307946 | | 志磨 純子 | 常勤監査役 | |
| | | | 秋元 芳央 | 社外監査役 | |
| | | | 澤田 静華 | 監査役 | 梅澤 高明 顧問 |
| | | | Keidanren Policy & Action | 日本経済団体連合会 (経団連) 会員 | |
| | | | 新経済連盟 Japan Association of New Economy | 新経済連盟 (新経連) 会員 | |
| | | | | 日本ベンチャーキャピタル協会 (JVCA) CVC会員 | |
| | | | | 経済産業省J-Startup Supporters選定企業 | |

- 2013.4 ウィルグループ子会社セントメディア（現:株式会社ウィルオブ・ワーク）のネットジンザイバンク事業部発足
- 2016.9 会社分割により、株式会社ネットジンザイバンクを新設（ウィルグループ100%出資子会社）
- 2018.3 フォースタートアップス株式会社に社名変更
- 2018.4 日本ベンチャーキャピタル協会入会
- 2018.5 成長産業領域に特化した情報プラットフォーム「STARTUP DB」リリース
- 2019.4 オープンイノベーションサービスを開始
- 2019.7 Crunchbase, Inc.（米国）との業務提携を開始
- 2020.3 東京証券取引所マザーズに上場（証券コード 7089）
- 2020.6 一般社団法人日本経済団体連合会（経団連）に入会
- 2020.8 SMBCグループとの業務提携
- 2021.1 新経済連盟（新経連）に入会
- 2021.8 フォースタートアップス1号投資事業有限責任組合設立

Mission



当社が新たに掲げる「(共に)進化の中心へ」という新ミッションは、「進化の中心とは何か」を、時代に合わせて常に問い、その目標をアップデートし続けていく姿勢をも表現しています。また、あえて「(共に)」という表現にしている理由は、「支援者」という立ち位置のみならず、時には自らも時代を創る「主体者・創造主」にもなる覚悟を示しています。

Vision



「世界で勝負できる産業、企業、サービス、人を創出し、日本の成長を支えていく」ために、「for Startups」をビジョンとして掲げ、ヒューマンキャピタルを中核とした成長産業支援事業に取り組んでいます。

Value



Startups First

全ては日本の成長のために。
スタートアップスのために。

Be a Talent

スタートアップスの最たる友人であり、パートナーであり、自らも最たる挑戦者たれ。
そして、自らの生き様を社会に発信せよ。

The Team

成長産業支援という業は、TEAMでしか成し得られない。
仲間のプロデュースが、日本を、スタートアップスを熱くする。

※スタートアップス = 『進化の中心』にいることを選択する挑戦者達

1989年は、世界時価総額ランキング10位以内を日本企業が席卷していた

世界時価総額ランキング TOP10 (1989年)

| 順位 | 企業名 | 時価総額 (億ドル) | 国名 |
|----|-------------|---------------|----|
| 1 | NTT | 1638.6 | |
| 2 | 日本興業銀行 | 715.9 | |
| 3 | 住友銀行 | 695.9 | |
| 4 | 富士銀行 | 670.8 | |
| 5 | 第一勧業銀行 | 660.9 | |
| 6 | IBM | 646.5 | |
| 7 | 三菱銀行 | 592.7 | |
| 8 | エクソン | 549.2 | |
| 9 | 東京電力 | 544.6 | |
| 10 | ロイヤルダッチ・シェル | 543.6 | |

世界時価総額ランキング TOP10 (2022年)

| 順位 | 企業名 | 時価総額 (億ドル) | 業種 | 国名 |
|----|------------------------------------|---------------|-------|----|
| 1 | Apple | 28,281.9 | IT・通信 | |
| 2 | Microsoft | 23,584.4 | IT・通信 | |
| 3 | Saudi Aramco | 18,868.9 | エネルギー | |
| 4 | Alphabet | 18,214.5 | IT・通信 | |
| 5 | Amazon.com | 16,352.9 | サービス | |
| 6 | Tesla | 10,310.6 | 一般消費財 | |
| 7 | Meta Platforms | 9,266.8 | IT・通信 | |
| 8 | Berkshire Hathaway | 7,146.8 | 金融 | |
| 9 | NVIDIA | 6,817.1 | IT・通信 | |
| 10 | Taiwan Semiconductor Manufacturing | 5,945.8 | IT・通信 | |

出所) 1989年のデータはダイヤモンド社のデータ (<https://diamond.jp/articles/-/177641?page=2>) を参照。2022年のデータはWright Investors' Service, Incのデータ (<https://www.corporateinformation.com/Top-100.aspx?topcase=b#/tophundred>) を参照 (2022年1月14日時点)

参照URL : <https://media.startup-db.com/research/marketcap-global-2022>

成長産業支援の仕組みを作り、
日本の国際競争力を挽回する。

ハイブリッドキャピタル

タレントエージェンシー

起業支援 起業希望者の発掘・起業サポート

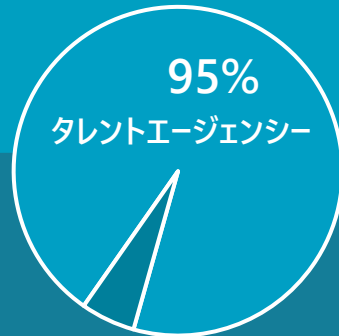
人材紹介 成功報酬型の転職支援サービス
固定報酬型の採用支援コンサルティング

フォースタートアップスキャピタル

スタートアップ投資

優良スタートアップ企業へ資金支援、
人材紹介に連携

2021年3月期通期
売上高比率



5%
オープンイノベーション

スタートアップエコシステム

オープンイノベーション

資金調達支援 スタートアップ企業と大手企業の連携を支援

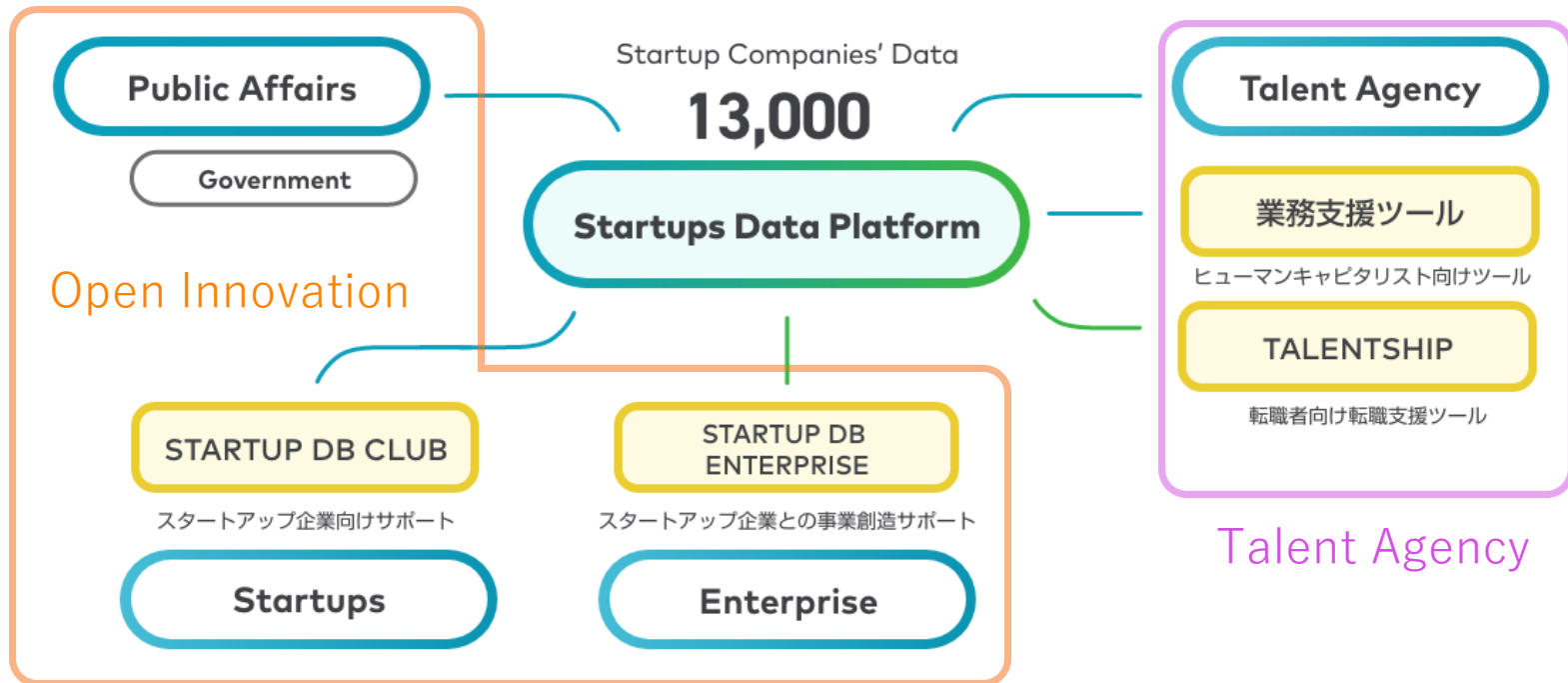
データ課金 大手企業等にSTARTUP DBのデータを定額課金、API連携などでデータ提供

Public Affairs 官公庁・自治体からスタートアップ関連の事業を受託

成長産業支援事業を支えるTechLab.

エンジニア組織「TechLab.」は、スタートアップ企業を支援する「STARTUP DB CLUB」、大企業向けデータ提供サービスの「STARTUP DB ENTERPRISE」を提供。また、社内のヒューマンキャピタリスト向けに「業務支援ツール」、転職者向けには「TALENTSHIP」の開発にも従事。

当社の事業は、「Startups Data Platform」を基盤としたサービス開発といったテクノロジーの力で支えられています。



フォースタートアップスの強み

外部環境

- ・ベンチャー支援は、国家戦略でもあり長期的に高い成長可能性
(政府のベンチャー支援強化策や、ベンチャー企業に対する税制改正等)
- ・成長産業、新興市場への資金流入は引き続き増加傾向
- ・DX化による人材獲得競争拡大の波

ネットワーク

イノベーションに関わるプレイヤーとのネットワーク
(ベンチャーキャピタル、大企業、政府、エコシステムビルダー、スタートアップなど)

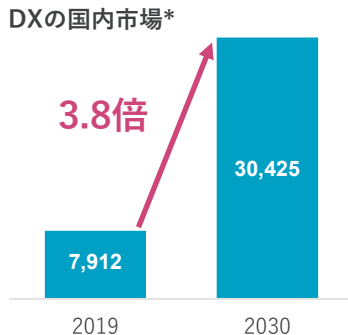
実績

採用難易度が高いスタートアップへの累計人材支援数2,153名のうち、
約32.5%**がハイレイヤー、幹部クラス

**2021年12月末時点（業務委託のぞく）

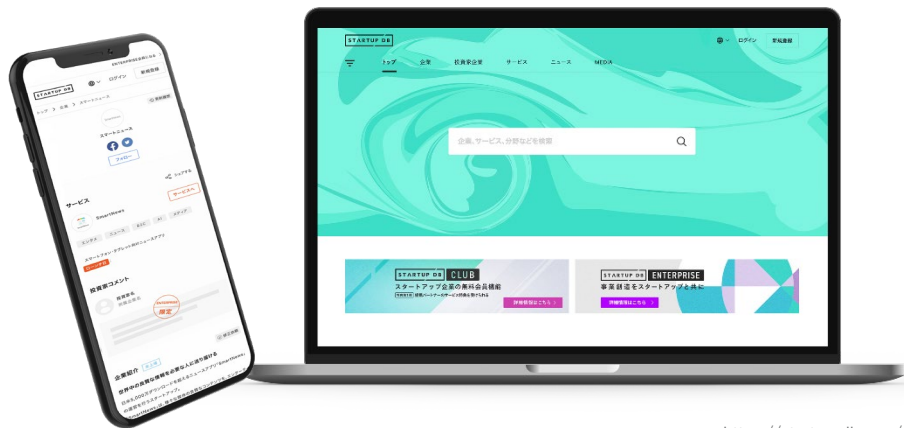
データベース

成長産業に関する国内最大級の情報プラットフォーム
STARTUP DB（スタートアップデータベース）



*出所 富士キメラ総研によるデジタルトランスフォーメーション（DX）の国内市場調査

13,000社以上のスタートアップ情報を集約した「成長産業に特化した情報プラットフォーム」
企業情報、資金調達、プロダクト情報、ニュース、インタビュー等を掲載



<https://startup-db.com/>



スタートアップとの事業創造をサポートする「ENTERPRISE」を2021年7月にリリース

メディア掲載実績・情報提供

| | | | |
|----------------|--------------|------------|------------|
| 週刊東洋経済 | 日経産業新聞 | テレビ朝日 | Yahoo!News |
| 会社四季報 | Forbes Japan | CNET Japan | 週刊アスキー |
| DIAMOND SIGNAL | 読売新聞 | @DIME | |
| 週刊ダイヤモンド | 中日新聞 | エキサイトニュース | |

海外

世界最大級のベンチャーデータ
ベース「Crunchbase」と業務提携

crunchbase

学術研究

東京大学、名古屋市立大学、
東北学院大学、関西学院大学、
大阪大学大学院等

Csis 東京大学
空間情報科学
研究センター

KGS 関西学院大学
KANSAI GAKUIN UNIVERSITY

政府・公共団体

内閣府やNEDO（国立研究開発法人）
事業との連携等

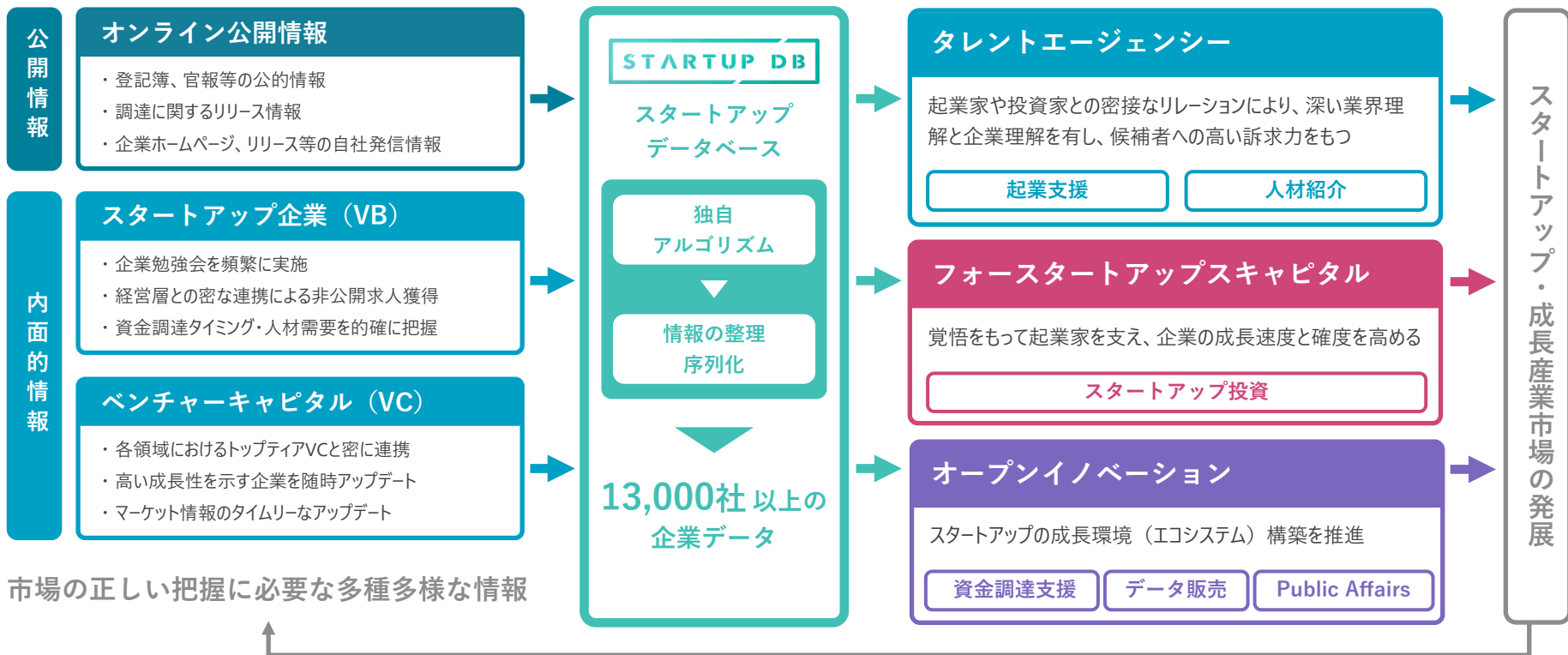
金融機関

SMBCグループと業務提携

SMBC

独自のスタートアップデータベースにより、「成長産業市場」を可視化

- ・ テクノロジーを活用し、膨大で散在する公開情報を網羅的且つタイムリーにキャッチアップ
- ・ VB・VCとの連携により内面的情報をタイムリーにキャッチアップ



市場環境

| 日付 | 種別 | ニュース |
|-------|------|---|
| 10/4 | FD組成 | 日立、166億円規模の第2号ファンド - 環境・ヘルスケア分野への投資拡大 |
| 10/19 | FD組成 | 「今だからこそエンタメ、スポーツに投資する」W venturesが50億円の2号ファンド立ち上げ |
| 10/26 | 調達 | ライフイズテック、国内外の投資家より25億円のシリーズD資金調達を実施 |
| 10/29 | 調達 | 【UPDATER (旧みんな電力)】シリーズCラウンド 総額37.2億円の資金調度を完了 |
| 10/29 | 調達 | アキュリスファーマがSoftBank Vision Fund 2をリード投資家とするシリーズAラウンドで総額68億円を資金調達 |
| 10/29 | 調達 | 【Spiber】事業価値証券化により、追加で50億円の資金調達を実施 |
| 11/5 | FD組成 | ベネッセが「Digital Innovation Fund」を設立 投資枠50億円で教育・介護ベンチャーへの出資・協業を強化 |
| 11/15 | 調達 | HIKKY、シリーズA資金調達のファーストクローズを65億円で完了 |
| 11/18 | 調達 | 「ChargeSPOT」のINFORICH、59億円を資金調達--累計総額108億円、2023年に10万台を設置へ |
| 11/25 | 調達 | 宇宙ゴミを掃除するアストロスケール、シリーズFで124億円を調達——累計調達額は334億円に |
| 11/30 | 調達 | 【MedVenture Partners】「MPI-2号投資事業有限責任組合」のコミットメント（出資約束）総額99億円をもって募集完了 |
| 12/9 | 調達 | 小型SAR衛星の開発・運用を手がける九州大学発QPS研究所がシリーズBファーストクローズとして38.5億円調達 |
| 12/15 | FD組成 | シード特化型VCのANOBACA、100社以上の投資を目指す60億円規模の3号ファンドを設立 |
| 12/17 | 調達 | 物流テックのCBcloudが60億円をシリーズC調達、アプリで即配頼める個人向けサービスをローンチ |
| 12/24 | 調達 | アソビュー、シリーズE資金調達で累計55億円。フィデリティ・三井不動産より本ラウンドで30億円調達。 |

国が掲げるKPI実現に向けて、
我が国の成長戦略におけるスタートアップ企業への支援策は増強が続く

我が国の成長戦略（2020年）⁽¹⁾ *抜粋

KPI ①

ユニコーン企業（又は同規模の上場ベンチャー）

2025年度までに50社創出 *16社(2019年度末時点)

KPI ②

ベンチャー企業へのVC投資額の

対名目GDP比を2022年までに倍増

オープン・イノベーション促進税制

国内の事業会社又はCVCによる未上場のスタートアップ企業*
に対する1億円以上の出資について25%の所得控除を講ずる

*創業10年未満が対象

グローバルに活躍するスタートアップ企業の創出・育成

2020年より3年間を集中支援期間とする「スタートアップ・
エコシステム支援パッケージ」（事業規模 約1,200億円）を
実施 ⁽²⁾

注：(1) 内閣府内閣官房 成長戦略2020『成長戦略フォローアップ』（2020年7月17日閣議決定） (2) 内閣府 文部科学省 経済産業省『スタートアップ・エコシステム形成に向けた支援パッケージ』（2020年7月）

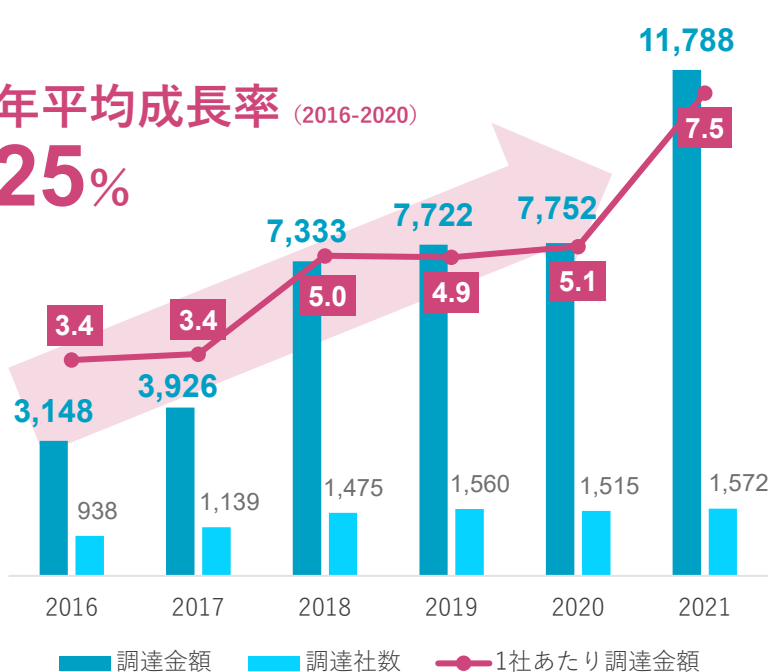
スタートアップ資金調達市場（国内）

2020年はコロナ禍で一旦足踏みしたものの、2021年は1兆円の大台を超えた

調達金額（年次）

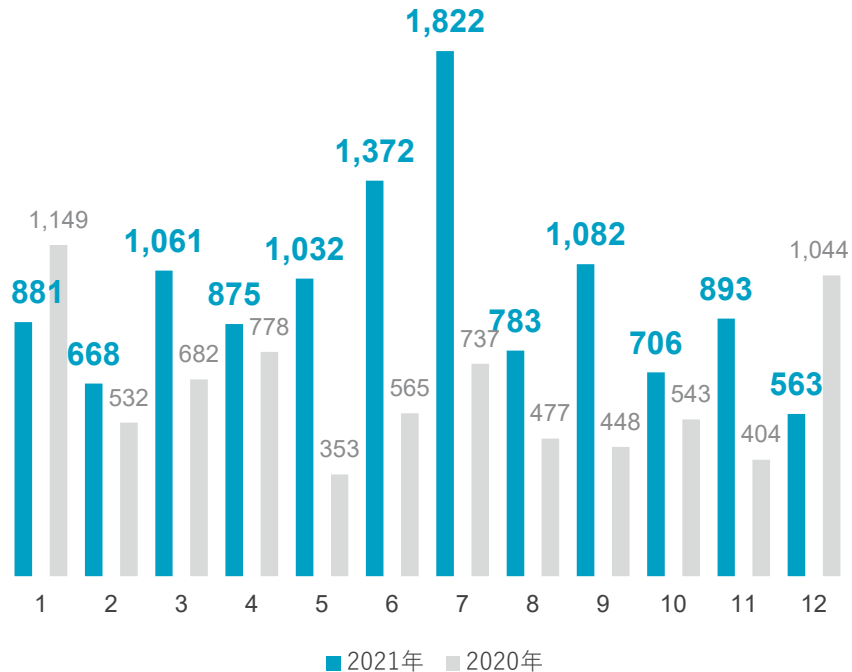
（単位：社）
（単位：億円）

年平均成長率
(2016-2020)
25%



調達金額（月次）

（単位：億円）

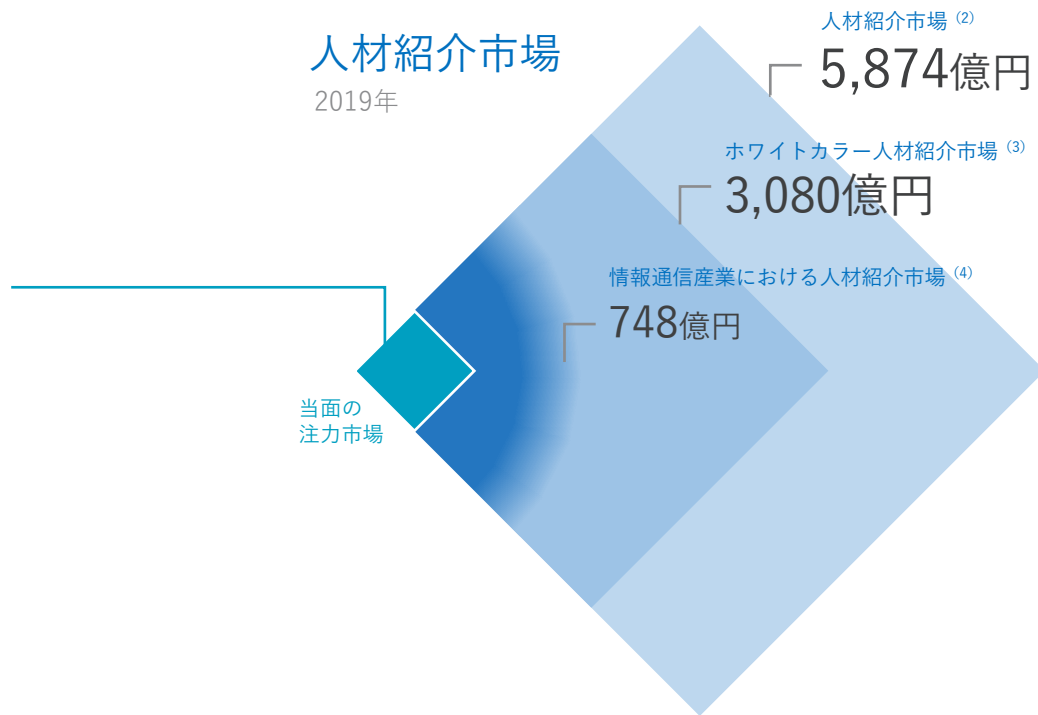


出所) STARTUP DB 注) 親会社及び融資や社債での資金調達を含む 2022年1月25日現在

人材紹介市場の中、当社が主戦場とする成長産業支援の市場を約100億円と試算

国内有カスタートアップにおける
人材紹介市場⁽¹⁾

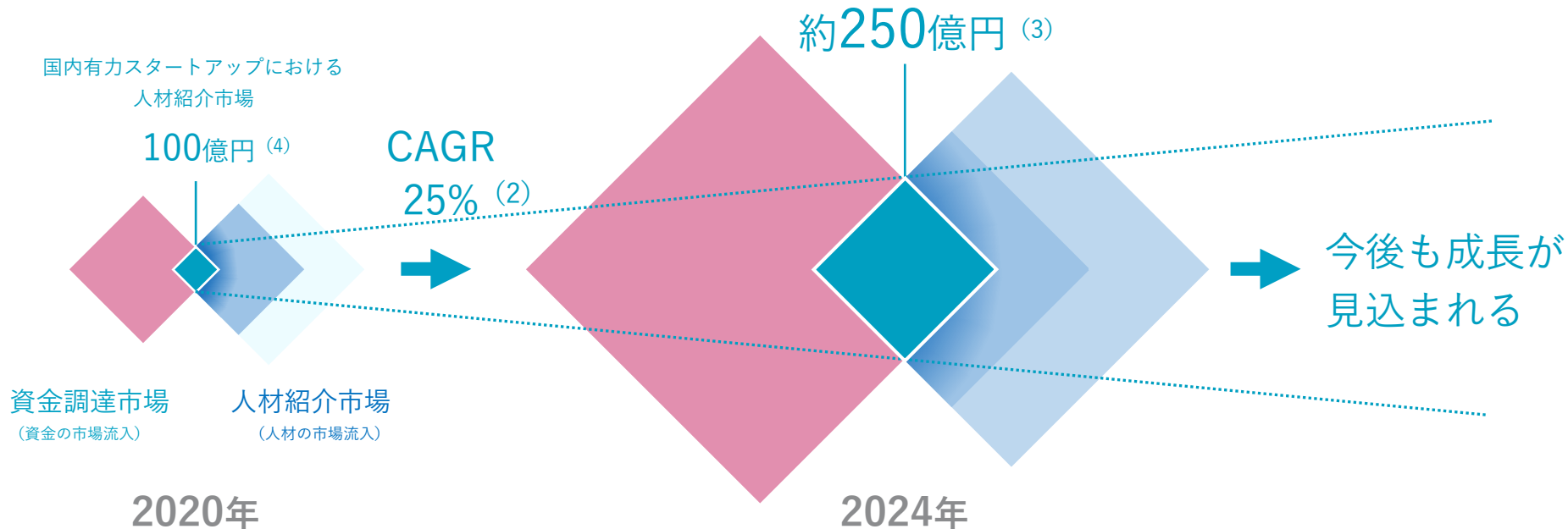
100億円



注: (1)『STARTUP DB』データおよび当社注力クライアントに採用スケジュールおよび採用予定人数等をヒヤリングした結果を参考に推計 (2)厚生労働省『令和元年度職業紹介事業報告書の集計結果(速報)』より民間職業紹介事業所手数収入 (3)矢野経済研究所『2020年版 人材ビジネスの現状と展望』より、人材紹介市場規模の推計値 (4)矢野経済研究所『2020年版 人材ビジネスの現状と展望』より「人材紹介大手3社カテゴリー別転職紹介人数」2019年度におけるIT・通信業が占める割合24.3%をホワイトカラー人材紹介市場規模に掛けて導出

【タレントエージェンシー】市場の成長ポテンシャル

当社注力市場は、資金調達市場に連動して今後4年で2.5倍の約250億円規模に成長
(市場成長率25%) (1)



注: (1)(2)(3) 2016年~2020年の国内スタートアップ資金調達データ (エクイティ+デット) をもとに算出したCAGR25%を適用 (4) 『STARTUP DB』 データおよび当社注力クライアントに採用スケジュールおよび採用予定人数等をヒヤリングした結果を参考に推計

2022年3月期 業績予想

2022年3月期通期業績予想

2021年8月に発表した業績予想をさらに上方修正

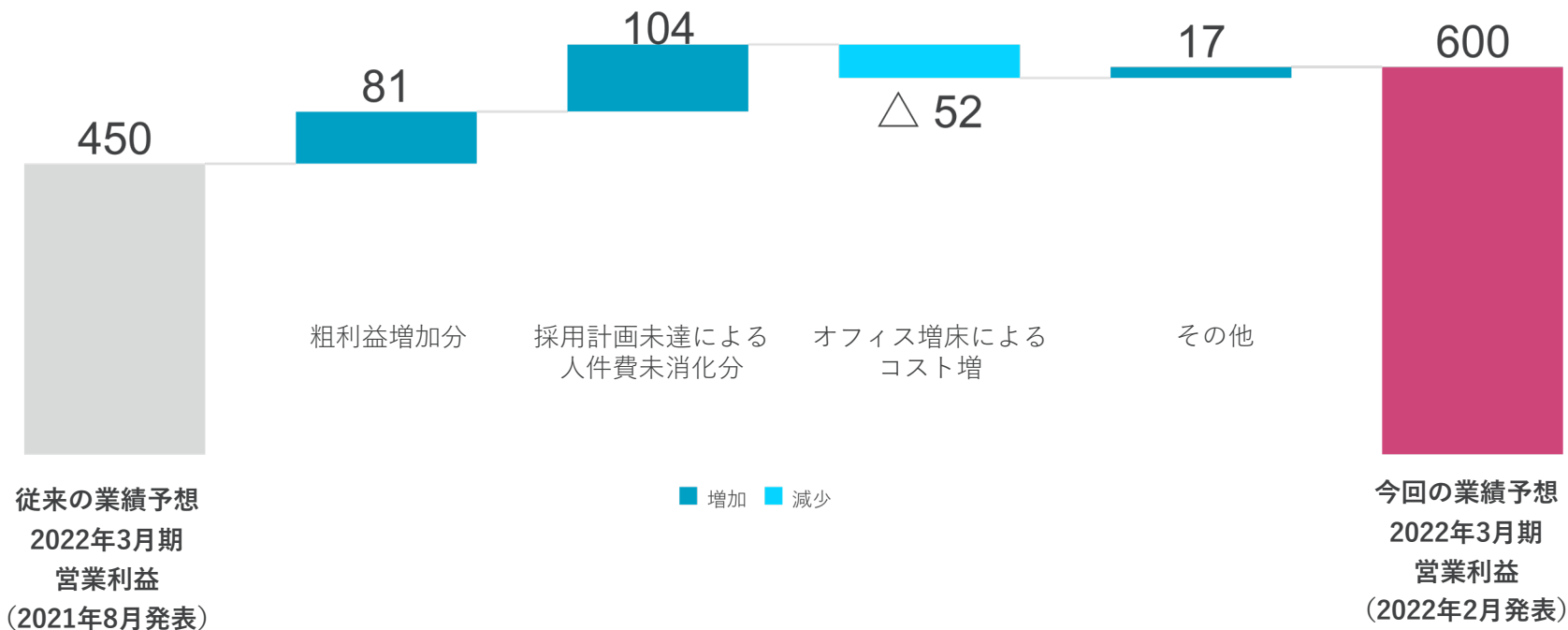
| | 2022年3月期 業績予想 2022年2月発表 | 2022年3月期 業績予想 2021年8月発表 | 増減 | 2021年3月期 通期実績 (参考) |
|-------|-------------------------------|-------------------------------|--------|--------------------------|
| 売上高 | 2,300 百万円 | 2,200 百万円 | 4.5 % | 1,273 百万円 |
| 営業利益 | 600 百万円 | 450 百万円 | 33.3 % | 158 百万円 |
| 経常利益 | 600 百万円 | 450 百万円 | 33.3 % | 161 百万円 |
| 当期純利益 | 450 百万円 | 310 百万円 | 45.2 % | 95 百万円 |

投資事業を行う子会社「フォースタートアップスキャピタル合同会社」及び「フォースタートアップス1号投資事業有限責任組合」を新たに設立したことに伴い、2022年3月期第2四半期から連結決算に移行しておりますが、フォースタートアップス1号投資事業有限責任組合からの出資金額は当第2四半期末時点で僅少であるため、連結決算開始に伴う当社の業績に与える影響は軽微であります。

上方修正について（利益面）

今回の上方修正は、
採用計画未達による人件費未消化分と、営業強化による粗利益増加が主要因

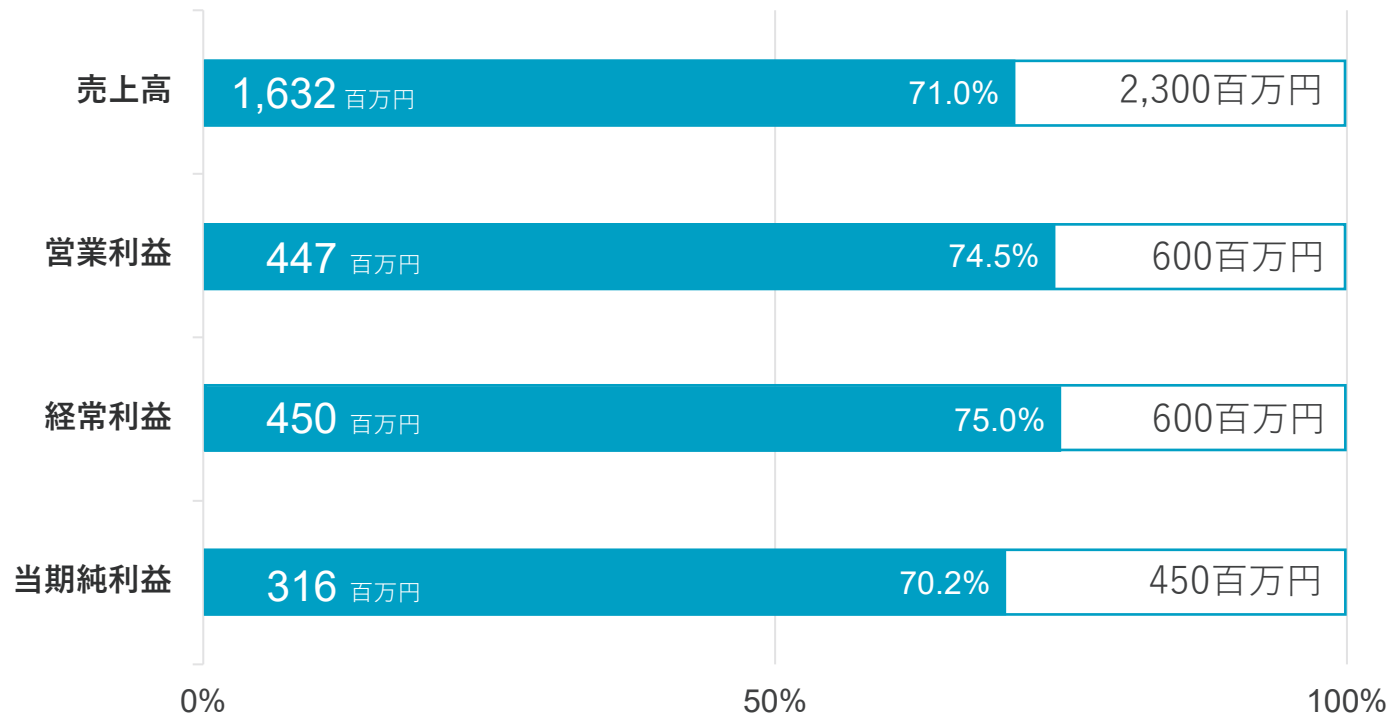
（単位：百万円）



業績予想に対する進捗

オフィス拡張は3月末に実施予定

来期以降も人材の積極的な採用を予定



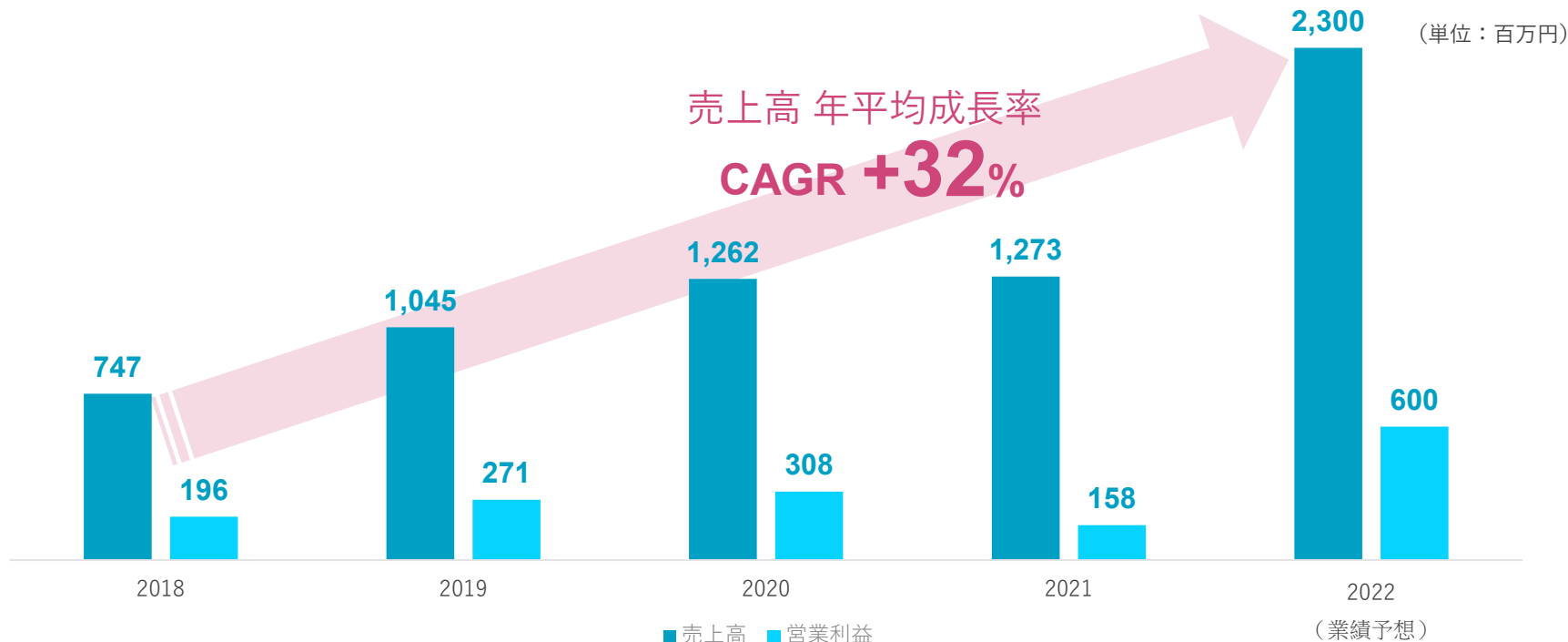
第2創業期：ハイブリッドキャピタル元年

| 項目 | 方針 | |
|----|-------------------------------|--|
| 事業 | タレント エージェンシー | 営業戦略機能の継続強化 育成含むマネジメント機能の継続強化 |
| | オープン イノベーション | サービスの事業ポートフォリオ確立 (データベース、資金調達支援、公共事業受託) |
| | 新規事業 | 投資事業への進出 |
| 全社 | 積極採用の継続 *前期以上の増員(50名程度)を予定 | |

年度売上高・営業利益推移

引き続き、2022年3月期をハイブリッドキャピタル元年と位置付け、
人材への投資を積極的に行う

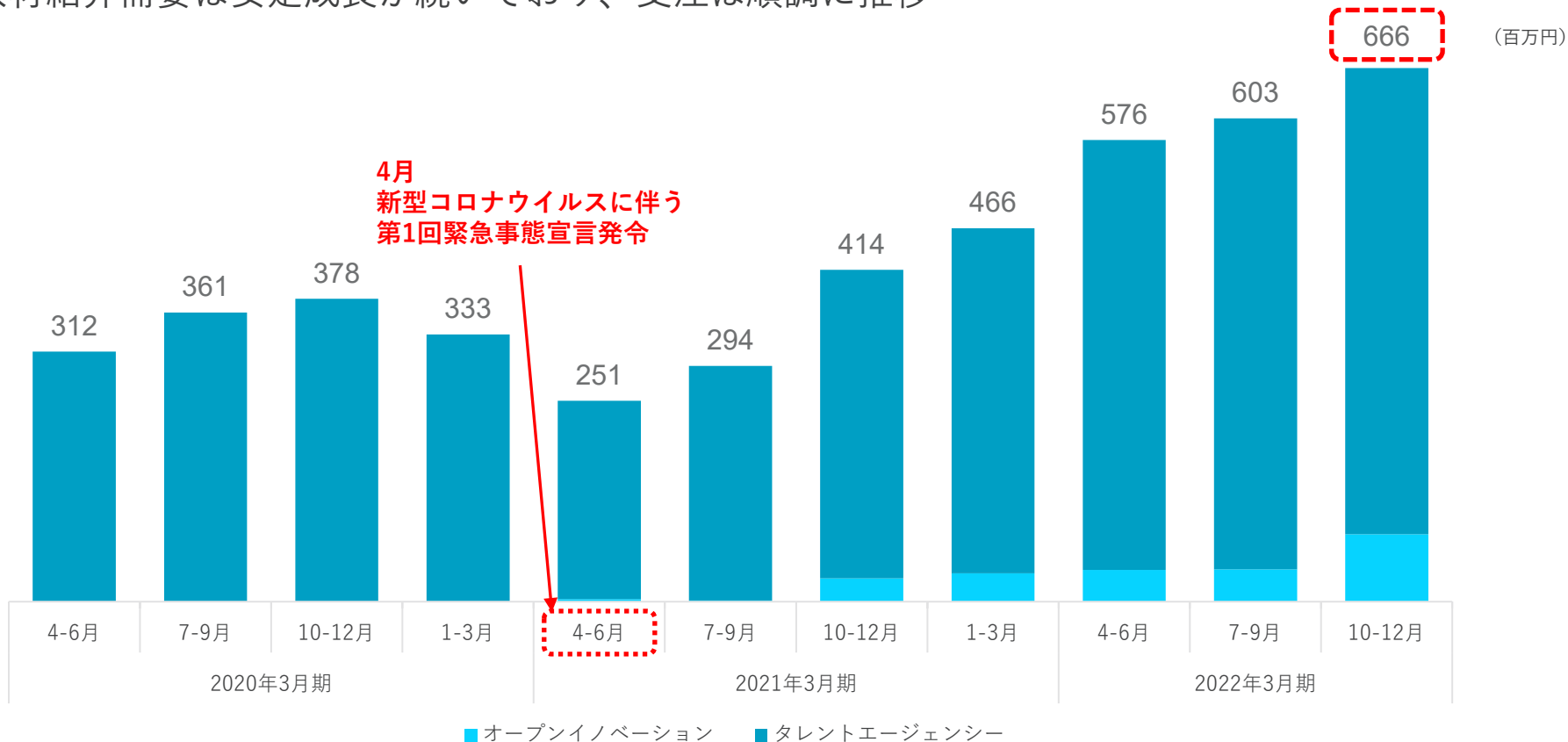
ハイブリッドキャピタルとは、当社の造語で、「ヒト（人材）」と「カネ（資金）」の支援を同時におこなうことで企業成長を後押しする状態



2022年 3 月期 第3四半期業績

全社受注額推移

人材紹介需要は安定成長が続いており、受注は順調に推移

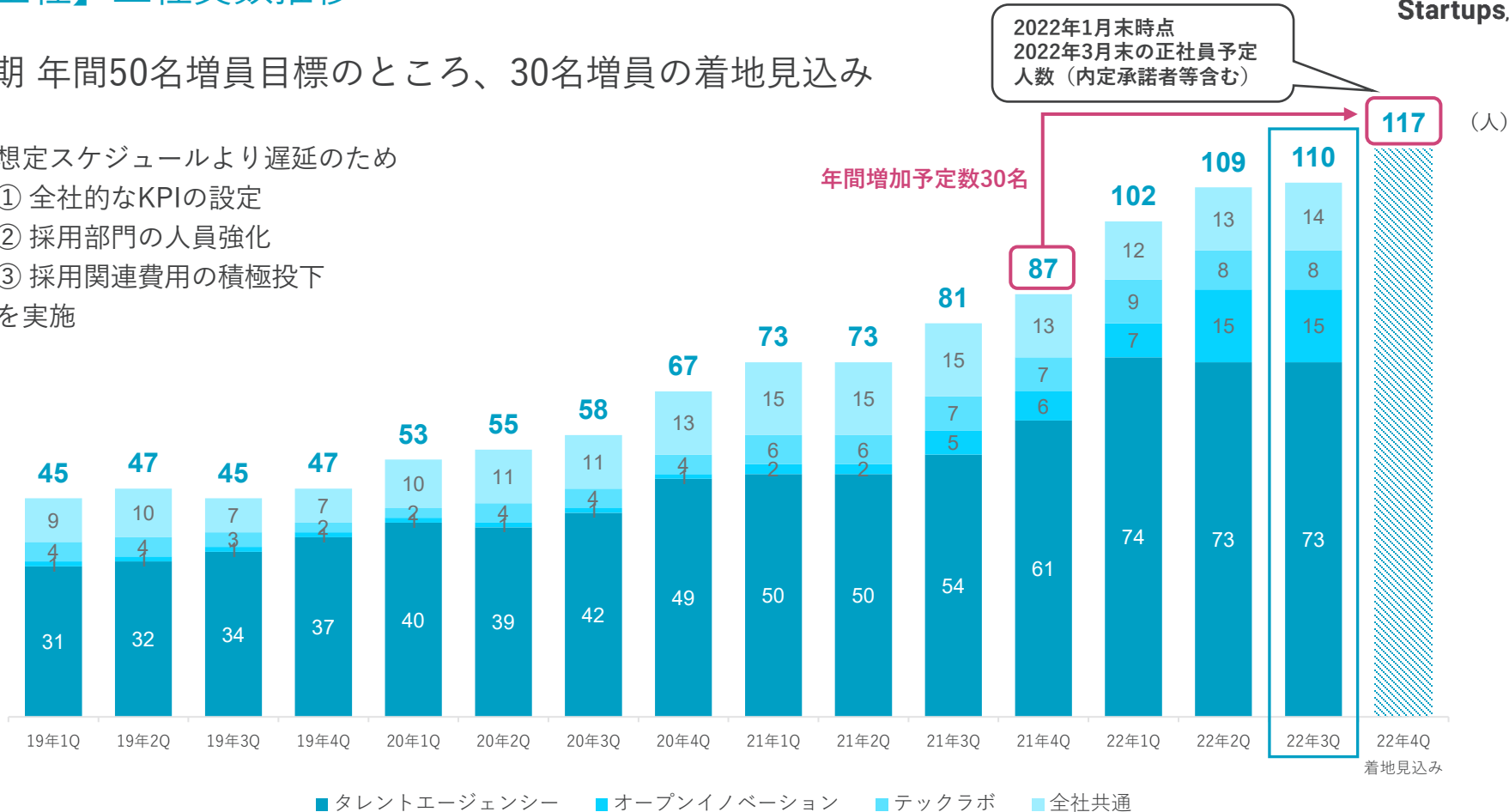


【全社】 正社員数推移

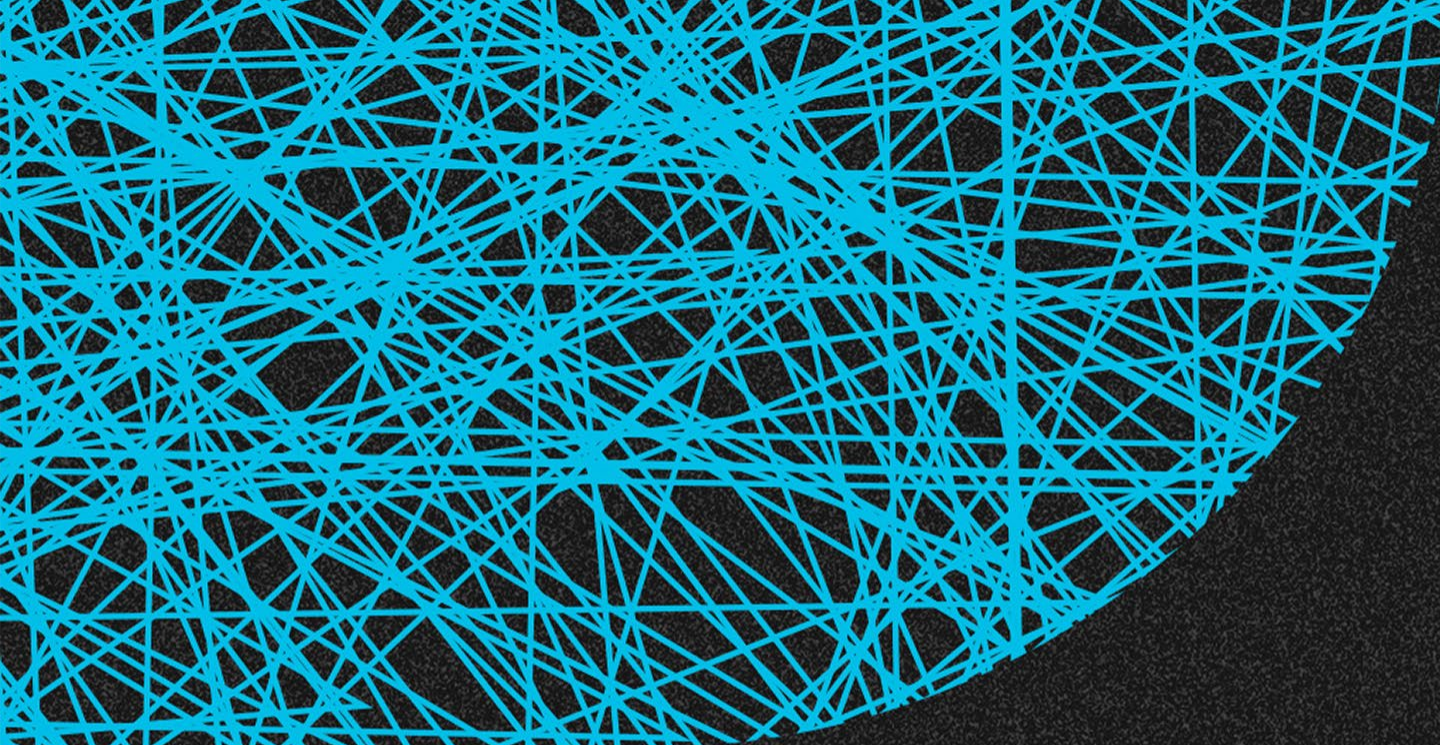
今期 年間50名増員目標のところ、30名増員の着地見込み

想定スケジュールより遅延のため

- ① 全社的なKPIの設定
- ② 採用部門の人員強化
- ③ 採用関連費用の積極投下を実施



各サービスの状況



Talent Agency

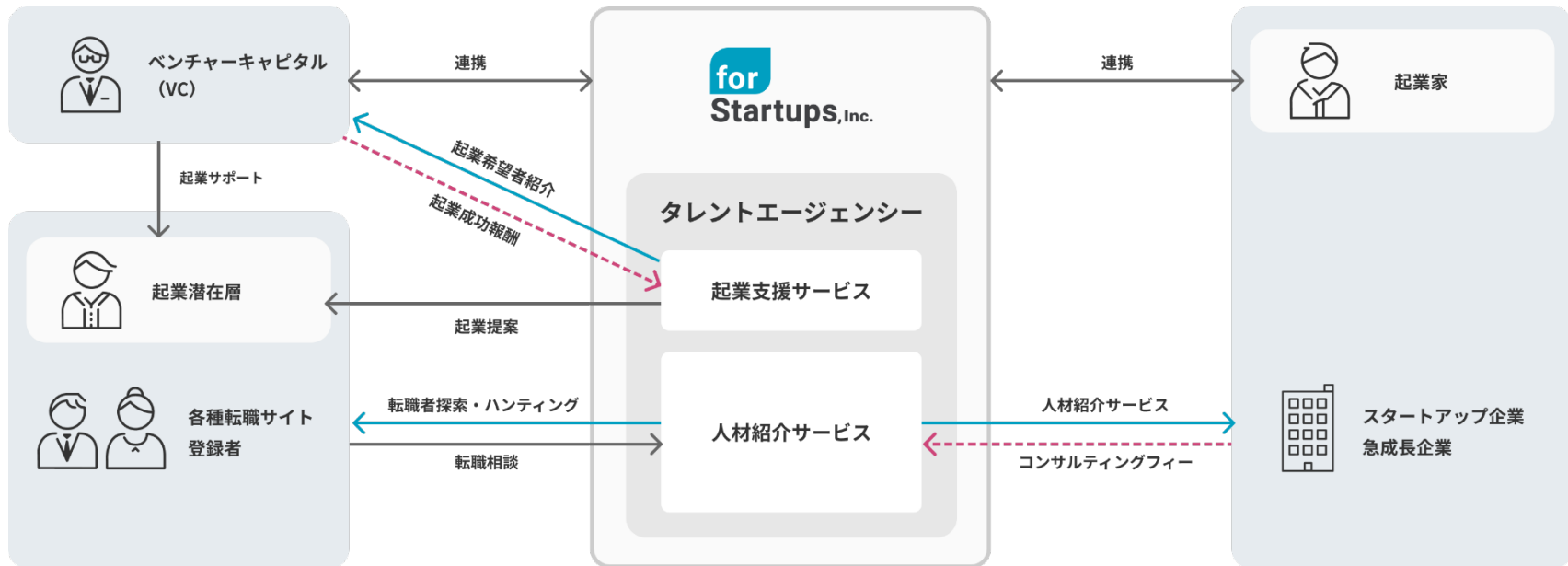
タレントエージェンシーサービス

【タレントエージェンシー】ビジネスモデル

起業支援サービスは、成功報酬でベンチャーキャピタル等から手数料収入などを得ます。

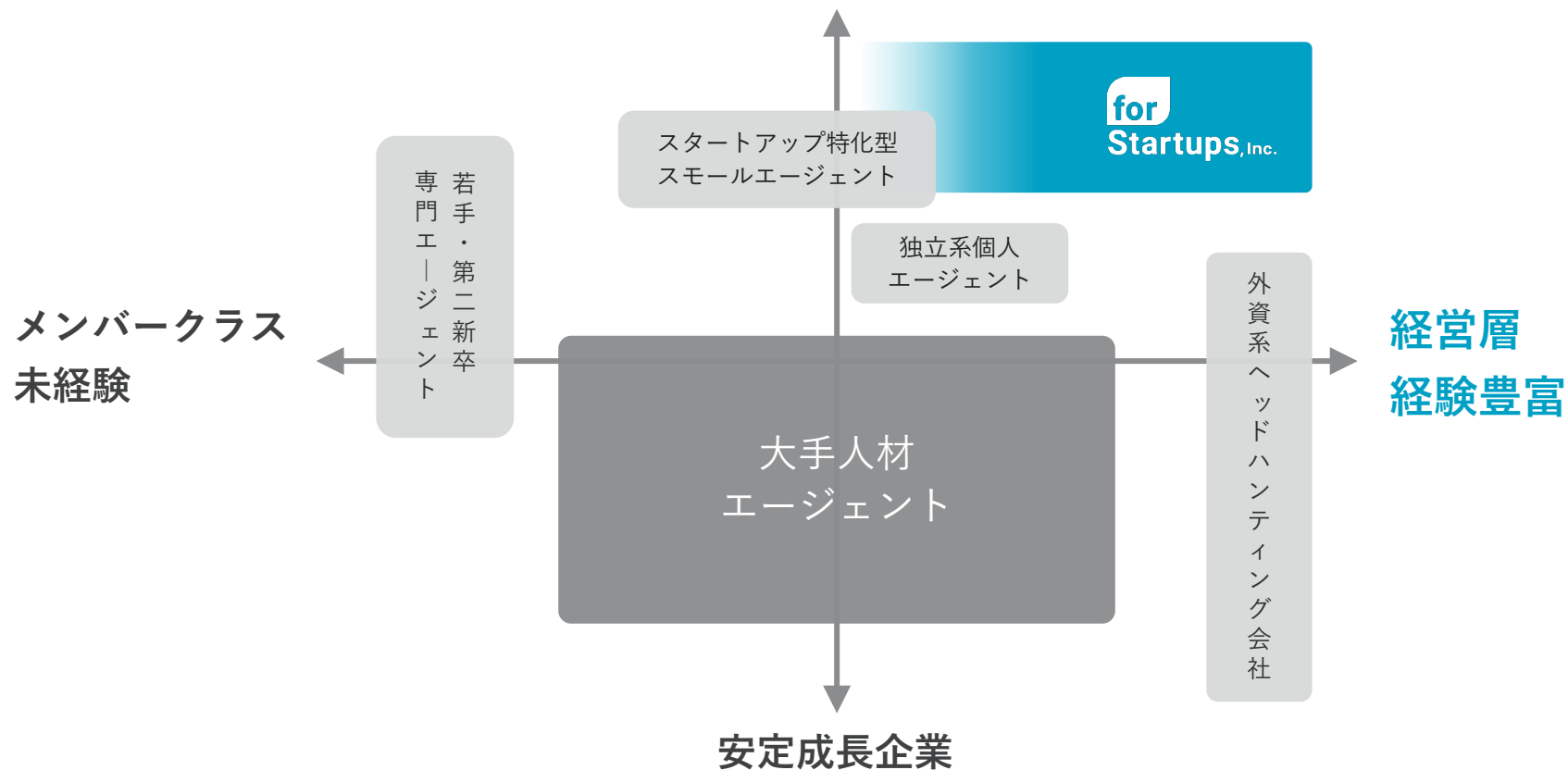
人材紹介サービスは、スタートアップ企業等から成功報酬で手数料収入、コンサルティングで固定報酬などを得ます。

両サービスともに、ヘッドハンティングで転職サイトを利用した場合に手数料支払いが発生します。



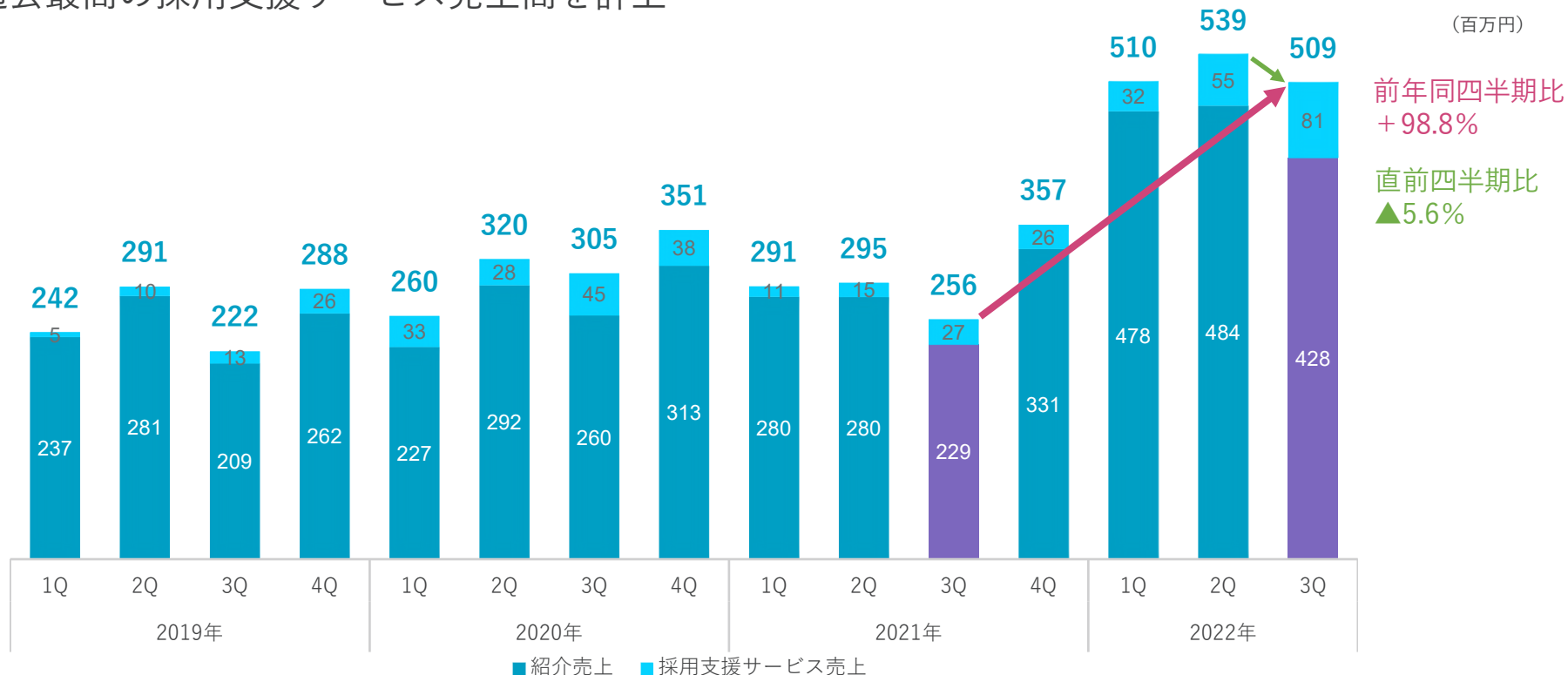
【タレントエージェンシー】ポジショニングマップ

スタートアップ・急成長企業



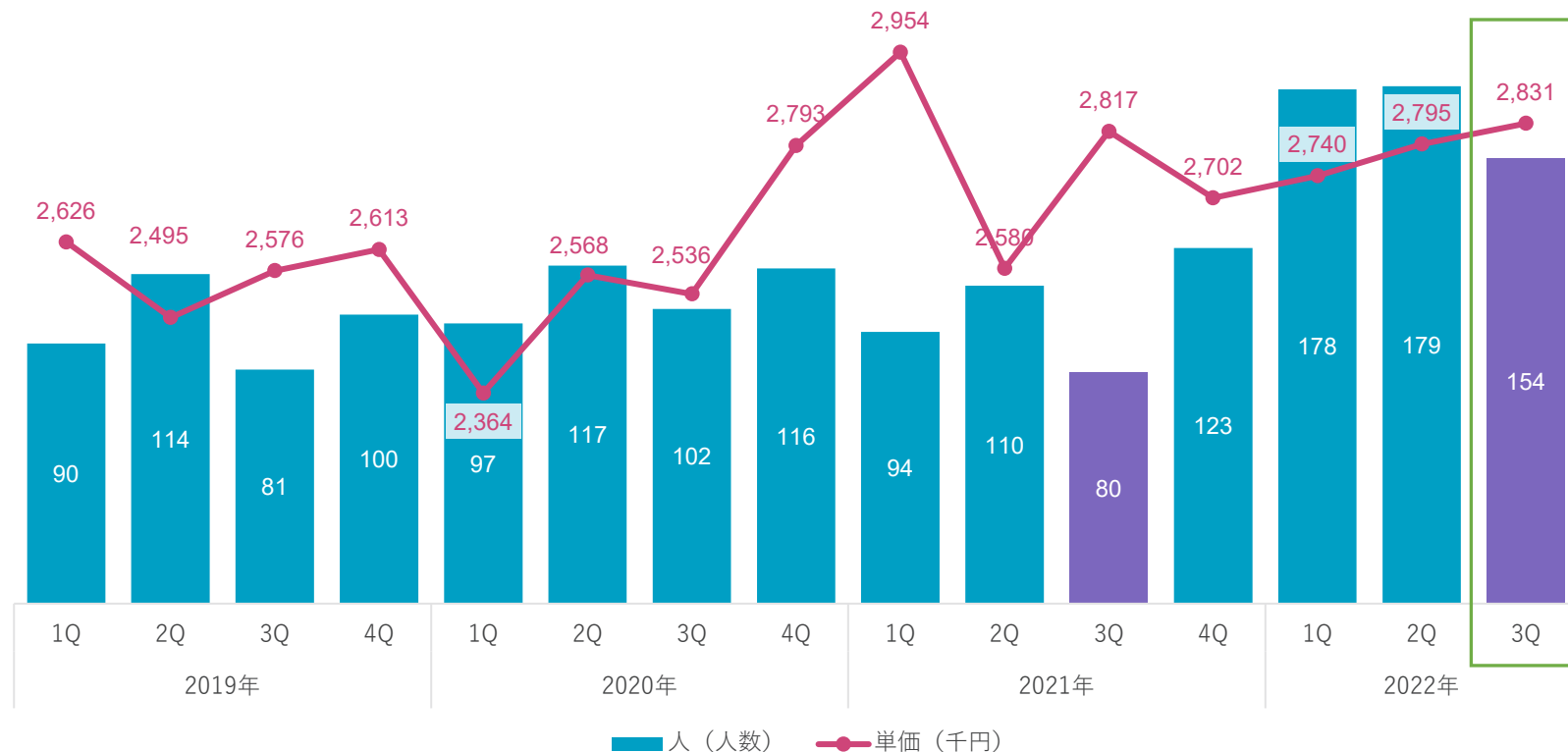
【タレントエージェンシー】 四半期売上高推移

季節要因により前四半期比マイナスとなったが、
過去最高の採用支援サービス売上高を計上



【タレントエージェンシー】人材紹介 取引数と単価

単価は高水準を維持 12月は季節要因で例年通り入社数が少ない傾向



注) タレントエージェンシー売上の一部サービス (業務委託等) は除く

VCや大学と連携して、スタートアップ起業家を創出

★☆☆ YOURMYSTAR

ユアマイスター / 星野貴之 CEO (楽天出身) / 2016年8月設立
日本最大級のサービスECプラットフォーム運営

Graffer

グラファー / 石井 大地 CEO (リクルート出身) / 2017年7月設立
行政サービスのデジタル改革推進

TERASS

TERASS / 江口亮介 CEO (マッキンゼー出身) / 2019年4月設立
不動産ITサービス運営



Blue Practice / 鈴木 宏治 代表取締役社長 (日本IBM出身) / 2019年2月設立
医療シミュレータの開発・製造・販売

Yuimedi

Yuimedi / グライムス 英美里 代表取締役社長 (マッキンゼー出身) / 2020年11月設立
医療のリアルワールドデータ*を用いた研究をデジタルソリューションでサポート

*リアルワールドデータ (RWD) とはレセプトデータや電子カルテデータ、DPCデータ等、臨床現場で得られる診療行為に基づく匿名化された医療ビッグデータ



NABLA Mobility / 田中 辰治 代表取締役社長 (BCG出身) / 2021年4月設立
航空機業界の効率改善、地球全体の脱炭素に貢献するソリューションを、AIやデータを活用して提供

【タレントエージェンシー】 支援実績企業例

未上場企業

ANDPAD

hey

LegalForce

zeals

Mobility
Technologies

FEZ

SmartNews

SHOWROOM

Graffer

SmartHR

GROOVE X

Mirrativ

AXELSPACE

KAKEHASHI

READY FOR

mercari

RAKSUL

PLAID

freee

ビザスク

BASE

sansan

MEDLEY

Money Forward

yappli

Lancers

WealthNavi

UZABASE

FINATEXT

EXAWIZARDS

既存上場企業

DeNA SMS

EVANGE (エヴァンジェ)

<https://evange.jp/>

当社がご支援したCXO・経営幹部層の
代表的な支援事例をご紹介しているオウンドメディア



*ココナラ社の鈴木 歩 氏は、COOとして支援後、2020年9月にCEOに就任

HEROES (ヒーローズ)

https://note.com/forstartups_ep/

当社のエンジニア支援チームがご支援したエンジニアの
代表的な支援事例をご紹介しているオウンドメディア



ラクスル株式会社
プロダクトマネージャー
笹子 圭太 氏

株式会社タイミー
VPoE (VP of Engineering)
加川 申祐 氏

へい株式会社
エンジニア
大橋 宏章 氏

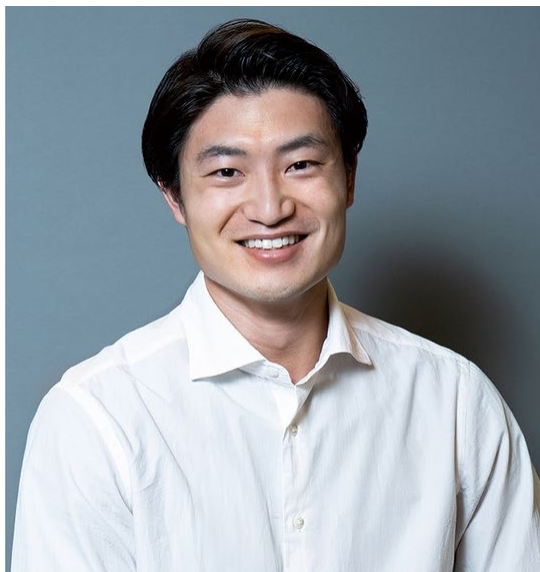
支援力の高いヘッドハンターを表彰する「iX HEADHUNTER AWARD 2021」にて、
当社シニアヒューマンキャピタリスト 東 晃希が「ハイクラス決定人数部門 第2位」を受賞

iX 転職

iX HEADHUNTER
AWARD 2021

ハイクラス決定人数部門 2位

東 晃希

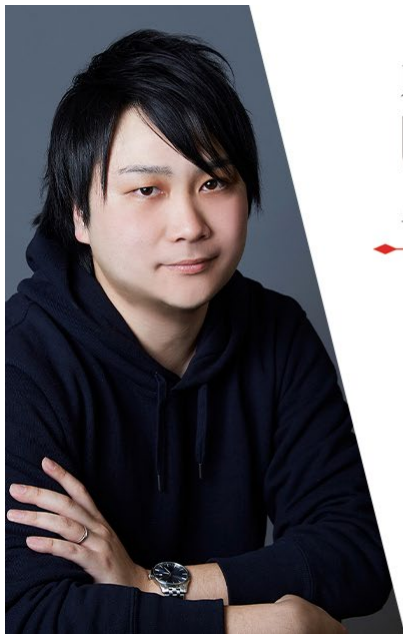


「iX HEADHUNTER AWARD 2021」とは

パーソルキャリア株式会社が運営するハイクラス転職サービス「iX転職」にてハイクラスポジション（年収1,000万円以上）の転職支援数が優れたヘッドハンターが受賞する賞。

評価期間：2019年7月～2021年6月末までの期間にて、非常に優れた転職支援実績を挙げたヘッドハンターに贈られます。

次世代を担う若手ヘッドハンターの活躍をたたえる「UNDER 30 MATCHING AWARDS 2021」にて、当社 シニアヒューマンキャピタリスト 森 心之介がベストマッチング賞を受賞



JAPAN HEADHUNTER
UNDER 30
MATCHING AWARDS



「UNDER30 MATCHING AWARDS」とは

ビズリーチを活用して活躍されている経験豊富なヘッドハンターの方や企業の人事担当の方と共に、若手ヘッドハンターの活躍をたたえ、育成を支援したいという思いから昨年より新たに開催しており、今年で2回目。

審査方法：30歳未満のヘッドハンターを対象に、「課題設定」「取り組み難度」「姿勢や行動」という3つの指標で、転職支援を行ったヘッドハンターとその取り組みを評価。

TOPICS：社員数500名の内、約50名を当社がご紹介 株式会社SmartHR

フォースタートアップスが成長に併走。

SmartHR社はアートからサイエンスへ転換し、4年で社員は20名から500名へ



写真左から：株式会社SmartHR取締役COOの倉橋隆文氏、元代表取締役の宮田昇始氏、
当社代表取締役 志水雄一郎、シニアヒューマンキャピタリスト 森心之介の対談（2021年11月29日記事公開）

Point

- 当時まだ社員20名の頃にCOOとなる倉橋氏をご紹介

SmartHR社 元代表取締役 宮田氏コメント（記事より抜粋）

- 「滅多に出会えない人がフォースタさん経由だとたくさん来てくれるので、いろんなエージェントさんに頼るよりはフォースタさんに一点張りをお願いしようと思った」
- 「2018年頃からは四半期に1回、お邪魔して事業説明のプレゼンをやらせていただいています。プレゼンをすると、やはり事業の理解度が深まるのか、紹介していただける数が増える」



for Startups Capital

フォースタートアップスキャピタル

2021年8月27日

三井住友銀行などが出資するフォースタートアップス1号投資事業有限責任組合を設立

フォースタートアップスキャピタルの投資

| | A | B |
|------|-----------------------------|------------------------|
| 投資先 | 人材支援実施により関係性が強固となった企業への資金支援 | 起業支援を通して立ち上がった企業への資金支援 |
| 投資種別 | ミドルレイター投資 | シード投資 |

投資済み企業一覧



2015年12月設立

株式会社フェズ

事業内容：リテイルテック事業（リテイル業界のDXに関する事業）等

NEW

★☆☆ YOURMYSTAR

2016年8月設立

ユアマイスター株式会社

事業内容：サービスECプラットフォーム事業

TOPICS：人的支援×資金支援のハイブリッドキャピタル

ヒト×ファイナンスで企業の成長を支援するハイブリッドキャピタルへ。
日本の小売業界をテクノロジーで変革する株式会社フェズとタッグ



写真左から：当社常務取締役 恒田有希子、株式会社フェズ 代表取締役 伊丹順平氏、
当社取締役 清水和彦（2021年12月21日記事公開）

Point

- フェズ社とは、2019年から取組を開始し、CTO、管理本部長、ビジネス側の執行役員を含め累計25名（2021年11月時点）のご支援
- フェズ社への出資はフォースタートアップスキャピタル第1号投資案件に

TOPICS：人的支援×資金支援のハイブリッドキャピタル②

有為の人材の背中を押し、挑戦する機会を創る起業支援
楽天幹部候補のキャリアを捨てて起業へ



Point

- インキュベイトファンド×フォースタの第1号 起業支援案件
- 100名採用における20名弱を当社が紹介し、また、経営幹部11名のうち、5名が当社による紹介
- 当社ファンドから出資

写真左から：インキュベイトファンド株式会社 代表パートナー 赤浦 徹氏、
ユアマイスター株式会社 代表取締役社長 星野 貴之氏、当社代表取締役社長 志水 雄一郎
(2022年1月6日記事公開)

Open Innovation

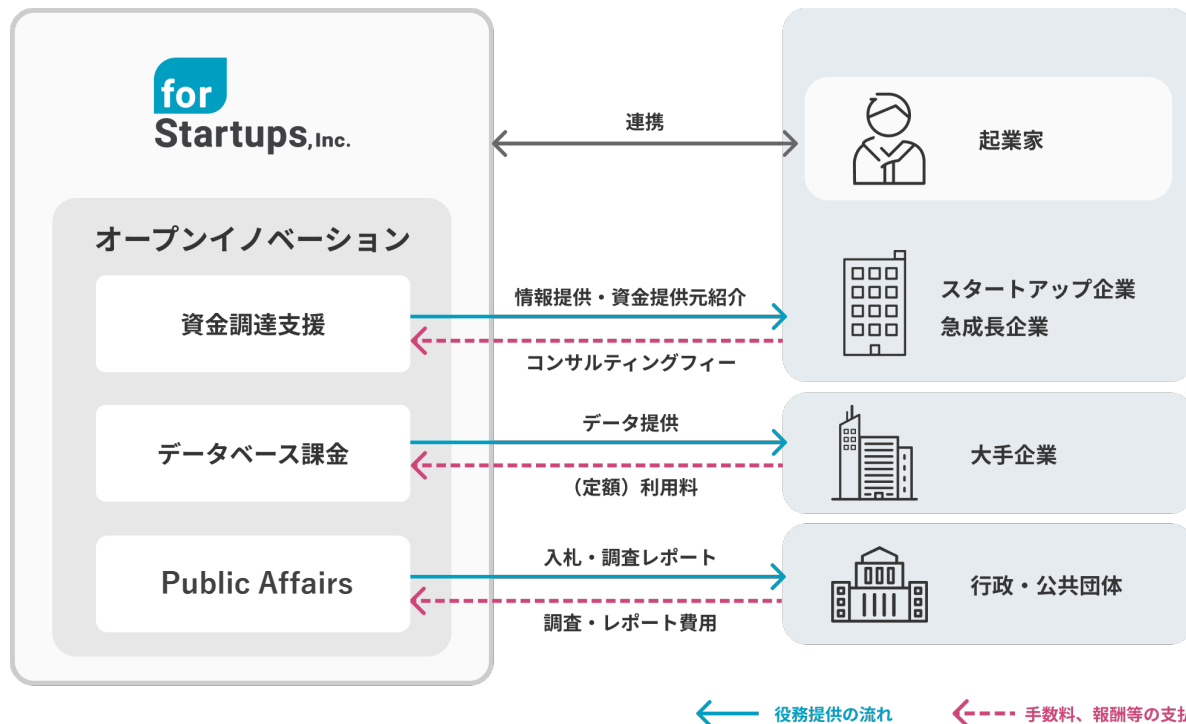
オープンイノベーションサービス

【オープンイノベーション】ビジネスモデル

資金調達支援は、スタートアップ企業等から調達金額に応じた手数料収入を得ます。

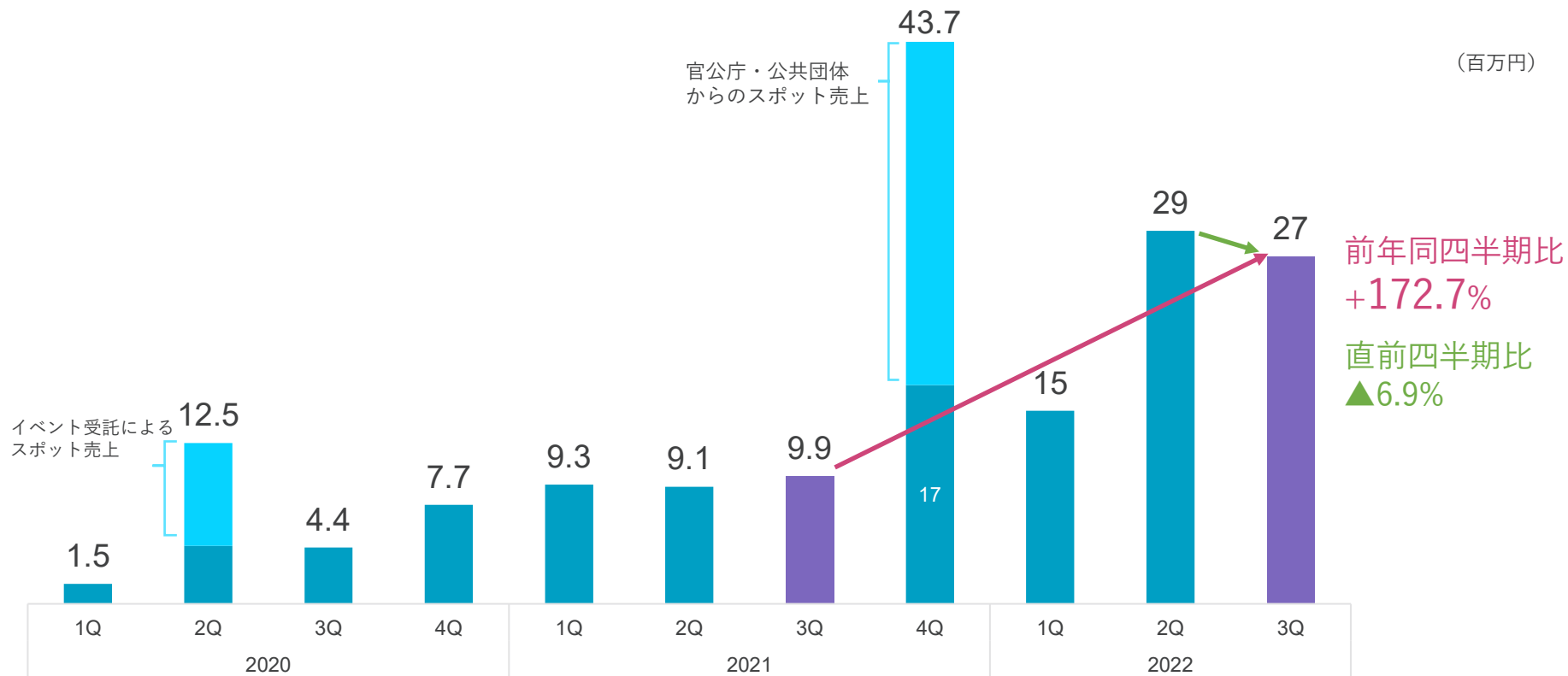
データベース課金は、データ利用料が収入となります。

Public Affairsは、行政・公共団体に各種プロジェクトが採択され、調査レポート作成収入などを得ます。*



*作業を一部を外注する場合、外注費用が発生する場合があります。

【オープンイノベーション】 四半期売上高推移



「ENTERPRISE」は、事業会社や投資家などのエコシステムビルダーの皆様と、国内スタートアップ、それぞれが信頼のできるパートナーとのアライアンス機会の創造をサポートする機能



株式会社三菱総合研究所

2021年11月 利用開始

社会課題の解決、社会実装、コレクティブ・インパクトの創出を目指す、未来共創イニシアティブ。特にスタートアップパートナーを増やすために、「STARTUP DB」を活用



インテル株式会社

2021年8月 利用開始

わずか2週間で商談オファー8社。「STARTUP DB」をフル活用しながら、AI社会実装を促進

中長期を見据えた 考え方

2022年3月期「ハイブリッドキャピタル元年」と位置付け

フォースタートアップスは創業以来、成長産業の支援インフラを中長期で構築することを目指し、人材の支援から着手
2022年3月期を「ハイブリッドキャピタル元年」と位置づけ、人材の支援に加え、資金の支援を開始



中長期目標

成長産業の支援インフラの構築

ハイブリッドキャピタル

成長産業支援に最も重要な2つの要素を組み合わせ、スタートアップ企業の早期成長を促す

人材の支援

タレントエージェンシー

成長産業、ユニコーン企業の輩出には優秀な人材が必要不可欠。フォースタートアップスのタレントエージェンシーは、成長企業の戦略に寄り添い、優秀人材を市場から発掘し紹介したり、VCと連携し起業家の輩出につなげます。

資金の支援

ベンチャーキャピタル他

成長産業に必ず必要な資金支援。フォースタートアップスは、大企業からの資金調達を支援するサービスや、ベンチャーキャピタルの設立などにより、スタートアップ企業に資金支援を行います。

エコシステム

VCとの連携

スタートアップ企業の協調支援

情報連携による協調支援

情報

STARTUP DB

成長産業に特化した情報プラットフォーム

成長産業における市場の可視化

行政

Public Affairs

産学官コミュニケーション

官公庁・公共団体との連携強化

大企業

Enterprise

スタートアップ企業と大企業の連携

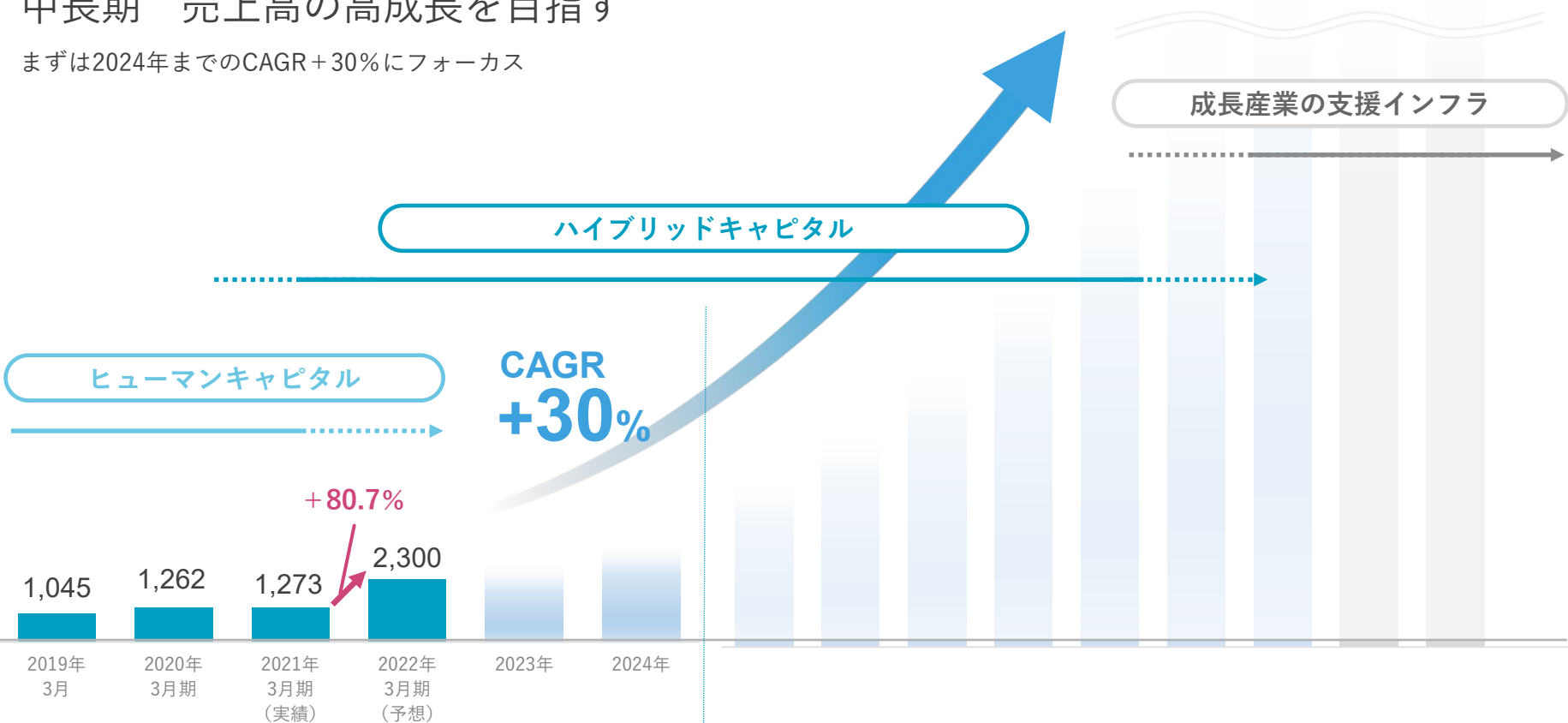
大企業のCVCや、イノベーション部門との連携を強化

中長期 売上高成長イメージ

中長期 売上高の高成長を目指す

まずは2024年までのCAGR+30%にフォーカス

(百万円)





for Startups

すべては、スタートアップのために。

世界で勝てる成長産業・成長企業を日本から生み出す。

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新・改訂を行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



すべては、スタートアップスのために。

Appendix

四半期売上高・営業利益推移

